

平成28年度 第3回人権教育ミドルリーダー育成講座

第3回講座では、人権教育学習資料集「なかまとともに」を活用した実践等を持ち寄り、授業づくりの在り方や教員の授業実践力向上を図るための方途について論議することを通して、教員の授業実践力向上におけるリーダーの役割及び求められる資質について研修しました。

- | | | | | |
|---|--------|----------------|--------------------------------|--------|
| 1 | 日時及び会場 | 平成28年12月26日(月) | 9:30~16:00 | 川西文化会館 |
| 2 | 参加者 | 第4期受講者 7名 | 第5期受講者 7名 | |
| 3 | 内容 | 9:35~9:55 | アクティビティ | |
| | | 10:00~11:00 | 「なかまとともに」実践交流(グループ) | |
| | | 11:05~12:00 | 意見交換(グループ) | |
| | | 13:00~14:20 | 各グループの代表より実践報告及び質疑応答(全体) | |
| | | 14:20~14:50 | 全体討議① | |
| | | | テーマ「人権教育の授業づくりで大切にしていること」 | |
| | | 15:00~15:55 | 全体討議②・まとめ | |
| | | | テーマ「リーダーとして教職員の授業実践力の向上をどう図るか」 | |

各テーマに沿って意見交換を行った。

【全体討議①】テーマ「人権教育の授業づくりで大切にしていること」

- ・ 子どもの現実を出発点にし、集団づくりと連動させながら授業づくりを進めること。
- ・ 子どもたちの姿を教職員間で出し合い教育課題を共有すること。
- ・ 教職員の有り様をはじめとした「隠れたカリキュラム」との関連を常に意識すること。
- ・ 教職員自身が様々な人権課題について知ろう、学ぼうとすること。
- ・ 地域に学び、人との出会いを大切にすること。
- ・ 個別の視点からのアプローチと普遍的な視点からのアプローチによるそれぞれの取組を常に関連づけながら進めること。
- ・ 自分事として考えることができるよう、取組の切り口、手法等を工夫すること。
- ・ 子どもの主体性を大切にし、子どもたちが自ら願いを達成できたと感じられる取組を進めること。
- ・ 教職員が「教える」ことのみならず、子ども同士がつながりの中で学び合う展開を考えること。
- ・ 学年間、校種間で連携を図り、教育内容の系統化を進めること。



【全体討議②】テーマ「リーダーとして教職員の授業実践力の向上をどう図るか」

自分たちと異なる世代の教職員と共に、どのように人権教育の授業づくりを進めていくかについて意見交換を行った。授業づくりを進めるにあたって、ねらいや指導方法等について教職員間で共有するための時間を捻出しにくいといった課題も出された。その中で、短時間であっても授業を見学し合えるように働きかけたり、レジュメ等を作成し提案したりすることや、伝えようとするよりも自身の姿を見てもらい感じてもらうことの大切さを確認した。

＜参加者の感想から＞

- ◇ 人権教育に関わる実践に広がりをもたせるためにも、まず、実践しようとする者がやりたいと思えるかが授業実践力の向上を図るために大事になると最後の討議を通して考えた。
- ◇ 「憧れていた先輩の子どもとの関わり方や行動が記憶に残っている」という言葉にはっとさせられた。20代の先生方にどのように伝えればよいか悩んでいた。その言葉を聞いて、自分が伝えるのではなく、若手の先生に感じてもらうように変えていこうと思った。